

平成29年大雪等に係る関係省庁災害警戒会議

議 事 次 第

日時：平成29年1月13日（金）11：00～
場所：合同庁舎8号館3階 災害対策本部会議室

1. 松本内閣府特命担当大臣（防災）挨拶
2. 今後の気象の見通し
3. 各省庁の対応状況
4. その他

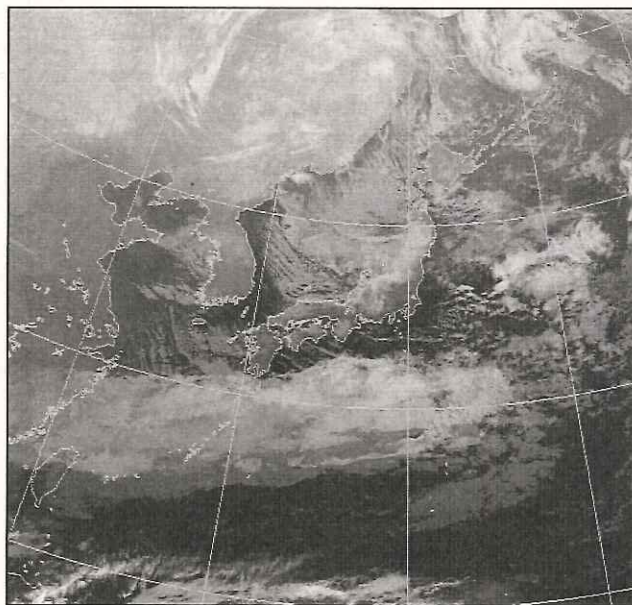
今週末にかけて持続する寒波について

<概況>日本付近は強い冬型の気圧配置となっており、今日13日9時までの24時間の降雪量は、福島県南会津町南郷で69センチを観測するなど、東北地方の日本海側や北陸地方を中心に大雪となっている。また、日本海では波が高くしているところがある。明後日15日頃にかけては、さらに強い寒気が流れ込む見込み。

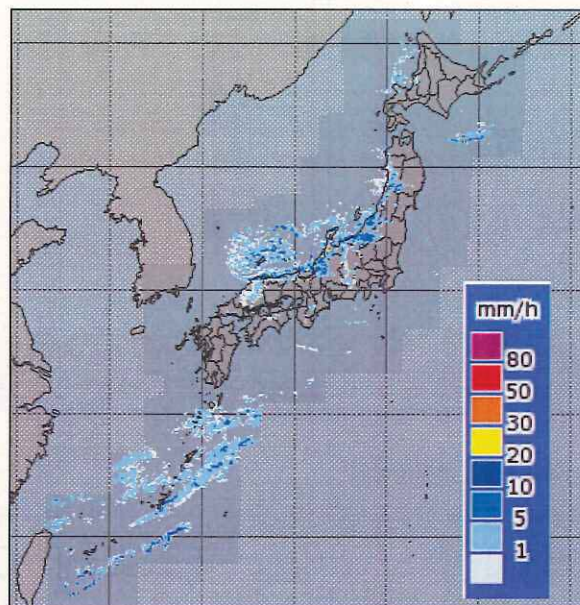
<大雪・暴風雪の予想>明後日15日頃にかけて、北日本から西日本の広い範囲で日本海側を中心に大雪が継続し、猛ふぶきとなるところがある見込み。また、明日14日から15日にかけては、東海地方や近畿地方等、西日本や東日本の太平洋側の平野部でも局地的に大雪のおそれ。

14日朝までの24時間に予想される降雪量は、いずれも多いところで、北陸地方で90センチ、関東地方北部や甲信地方、東海地方の山沿いで60センチ、東北地方日本海側で50センチ。その後も降雪が続き、14日朝から15日朝までの24時間に予想される降雪量は、いずれも多いところで、北陸地方で100センチから120センチ、東北地方日本海側、関東地方北部、甲信地方、東海地方の山沿いで50センチから70センチ。

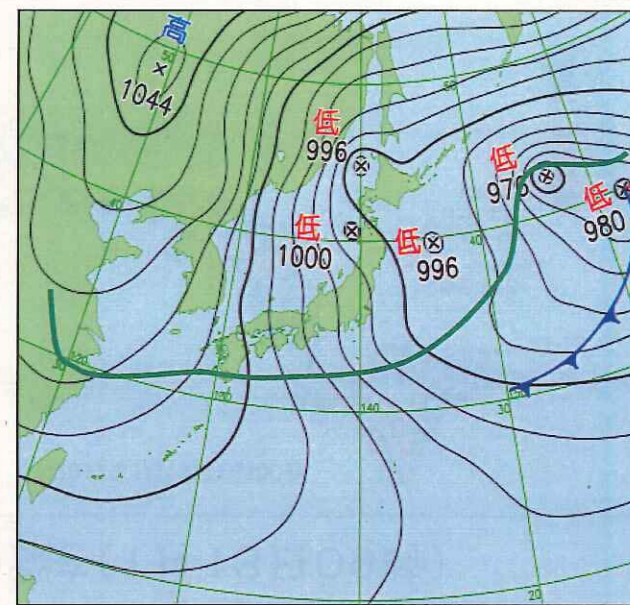
<警戒事項>日本海側を中心に暴風雪や大雪となる。猛ふぶきや吹きだまりによる交通障害、大雪、暴風、高波に警戒。なだれ、低温に注意。今後の気象情報等に留意。



気象衛星画像(赤外) 1月13日09時00分



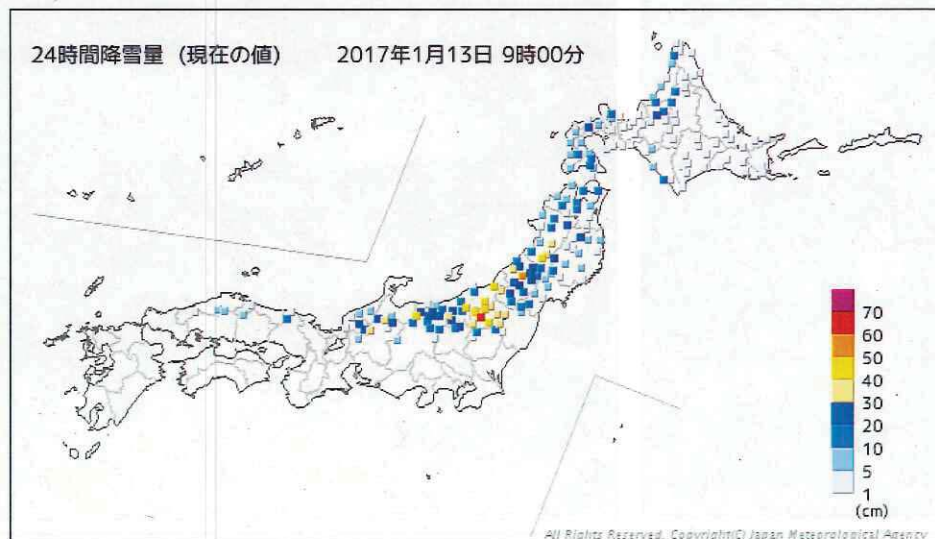
気象レーダー画像 1月13日09時00分



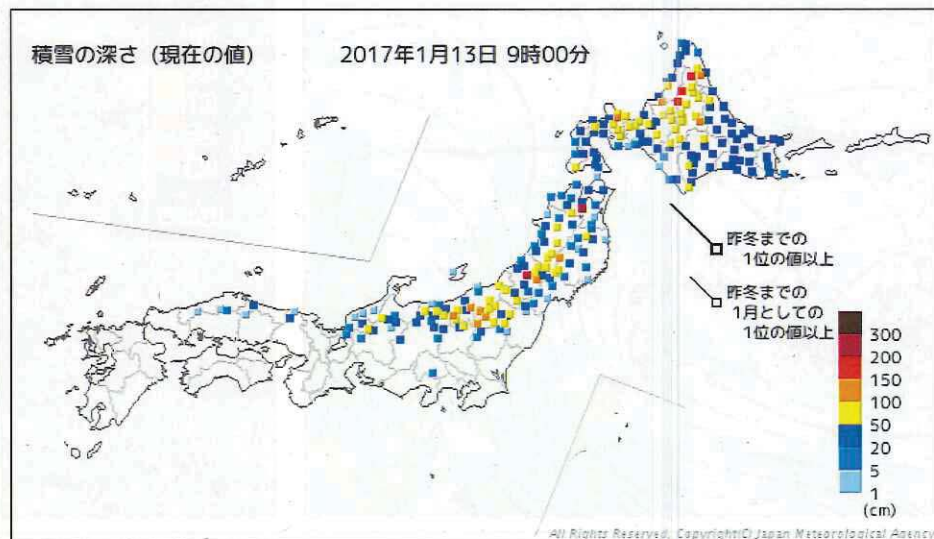
予想天気図 1月14日21時

〓 冬型の気圧配置時に降水があった場合、平地でも雪となる目安
 (上空約1500mの氷点下6度)

24時間降雪量(1月13日09時まで)



積雪の深さ(1月13日09時)



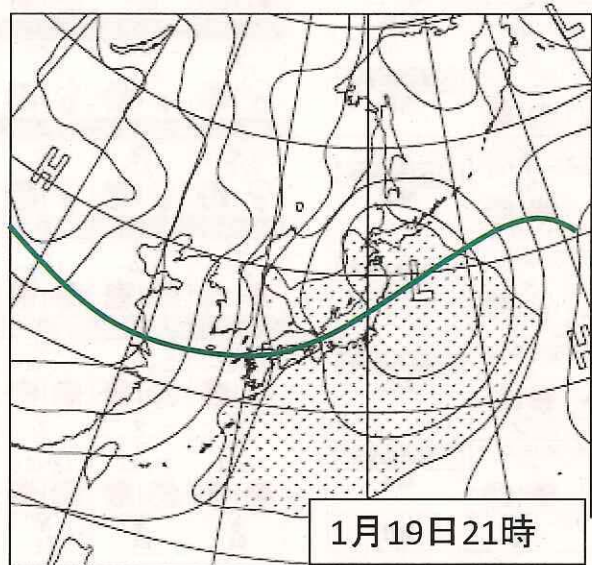
24時間降雪量 9時00分の値



順位	都道府県	地点	観測値	備考
			cm	
1	福島県	南郷	69	
2	山形県	肘折	52	
3	新潟県	守門	49	
4	福島県	金山	48	
5	長野県	白馬	46	
6	福島県	只見	45	
7	秋田県	湯沢	43	
〃	福島県	田島	43	
〃	新潟県	下関	43	
10	新潟県	津川	41	

積雪の深さ 9時00分の値

順位	都道府県	地点	観測値		昨冬までの観測史上1位の値		昨冬までの1月の1位の値		統計開始年	備考
			cm	cm	年月日	年月日				
1	青森県	酸ヶ湯	242	566	2013/02/26	429	2012/01/29	1979年		
2	山形県	肘折	235	414	2013/02/25	357	2012/01/31	1982年		
3	北海道 上川地方	朱鞠内	178	311]	1982/03/10	269]	1982/01/19	1981年		
4	北海道 上川地方	幌加内	153	269	1988/03/10	228	1988/01/29	1981年		
5	北海道 上川地方	音威子府	151	248	2013/01/26	248	2013/01/26	1982年		
6	福島県	南郷	133	281]	1981/02/11	246]	1981/01/23	1980年		
7	福島県	桜枝岐	125	339	2015/02/15	295	2006/01/04	1982年		
8	新潟県	守門	124	463]	1981/02/09	458]	1981/01/30	1980年		
9	北海道 留萌地方	幌糠	121	275	2005/03/03	222	2001/01/30	1982年		
10	福島県	只見	119	341	2013/02/25	322]	1981/01/23	1979年		

今後1週間の天気の見通し



 冬型の気圧配置時に降水があった場合、平地でも雪となる目安 (上空約1500mの氷点下6度)
  : 降水域

今後1週間の天気予報

1月13日7時 全国主要地点の週間天気予報

日付	13金	14土	15日	16月	17火	18水	19木
釧路 府県週間予報へ	-/-4 -7/0/0	-17/-3 0/10/10/10	-14/-1 50	-8/1 50	-10/-1 20	-12/-2 10	-12/-2 30
旭川 府県週間予報へ	-/-6 -20/10/20	-12/-6 20/10/10/10	-14/-3 60	-9/-1 60	-10/-2 20	-12/-2 10	-13/-2 30
札幌 府県週間予報へ	-/-5 -20/50/40	-9/-2 30/30/40/50	-8/0 60	-4/1 30	-5/1 20	-6/0 30	-7/1 30
青森 府県週間予報へ	-/-2 -40/40/80	-6/-2 60/80/80/40	-8/1 90	-4/4 80	-2/4 50	-2/4 60	-2/3 60
秋田 府県週間予報へ	-/-1 -60/60/80	-6/-1 70/80/80/80	-7/1 90	-3/4 80	-2/4 50	-2/5 60	-1/4 60
仙台 府県週間予報へ	-/3 -20/10/10	-5/1 10/20/20/20	-5/2 40	-4/6 30	-1/7 10	-1/6 40	0/6 40
新潟 府県週間予報へ	-/1 -90/90/80	-1/1 90/90/90/80	-1/4 90	0/5 80	1/6 60	1/7 60	1/7 60
金沢 府県週間予報へ	-/6 -90/90/90	-1/2 90/90/90/90	-2/4 90	0/5 80	0/8 50	1/7 60	1/7 60
東京 府県週間予報へ	-/12 -10/20/10	1/6 10/20/30/20	-3/7 20	-1/9 20	0/10 20	2/11 20	2/11 20
宇都宮 府県週間予報へ	-/10 -10/10/10	-4/4 10/20/20/20	-8/6 20	-6/8 20	-5/10 20	-3/10 20	-3/10 20
長野 府県週間予報へ	-/3 -70/60/70	-5/-1 70/70/60/60	-8/0 70	-6/2 70	-4/4 40	-4/5 50	-4/4 40
名古屋 府県週間予報へ	-/8 -20/20/30	1/5 30/50/30/20	-3/5 60	-2/7 30	-1/9 20	1/9 30	1/9 20

日付	13金	14土	15日	16月	17火	18水	19木
大阪 府県週間予報へ	-/9 -20/10/20	4/6 20/20/60/60	-2/5 50	0/7 40	1/10 20	3/9 30	2/9 30
高松 府県週間予報へ	-/9 -10/10/30	3/6 20/10/20/50	0/6 50	1/8 40	1/10 30	2/9 30	2/9 30
松江 府県週間予報へ	-/7 -50/60/60	1/5 70/80/80/80	-1/4 80	0/6 60	0/8 50	1/8 60	1/7 60
広島 府県週間予報へ	-/8 -30/30/40	3/6 40/40/40/40	-1/6 50	0/8 30	1/9 20	1/9 20	1/9 30
高知 府県週間予報へ	-/11 -10/10/30	1/8 20/10/10/30	-2/8 40	-1/10 30	1/12 20	1/11 20	1/11 20
福岡 府県週間予報へ	-/9 -10/30/30	3/6 30/20/20/30	1/7 40	2/9 40	3/10 40	3/9 30	3/8 40
鹿児島 府県週間予報へ	-/12 -20/10/20	6/10 20/10/10/10	1/10 30	2/12 30	4/13 30	4/12 30	4/12 40
奄美 府県週間予報へ	-/18 -90/50/10	13/15 20/20/20/20	10/15 40	10/16 40	11/18 40	11/17 40	12/18 40
那覇 府県週間予報へ	-/18 -70/30/20	15/18 10/10/10/10	14/18 30	15/19 40	16/21 60	16/20 40	16/21 40
石垣 府県週間予報へ	-/21 -60/30/30	18/20 30/30/30/30	17/22 40	18/23 50	18/23 60	18/23 40	18/24 40

最低気温 / 最高気温 (°C)
 降水確率 (%)

降水の有り無しの予報について、予報が適中しやすい、予報が変わりにくい順に、A, B, Cの3段階で表しています。

1月11日からの大雪等に係る被害・対応状況について

1 気象の概況（1/13 8:00 時点）

- 日本付近は強い冬型の気圧配置となっており、13日8時までの24時間の降雪量は、福島県南会津町南郷で71cmを観測するなど、東北地方の日本海側や北陸地方を中心に大雪。15日頃にかけて、北日本から西日本の広い範囲で日本海側を中心に大雪が継続し、猛ふぶきとなるところがある見込み。また、14日から15日にかけては、東海地方や近畿地方等、西日本や東日本の太平洋側の平野部でも局地的に大雪のおそれ。
- 14日朝までの24時間に予想される降雪量は、いずれも多いところで、北陸地方で90cm、関東地方北部や甲信地方、東海地方の山沿いで60cm、東北地方日本海側で50cm。その後も降雪が続き、14日朝から15日朝までの24時間に予想される降雪量は、いずれも多いところで、北陸地方で100cmから120cm、東北地方日本海側、関東地方北部、甲信地方、東海地方の山沿いで50cmから70cm。
- 猛ふぶきや吹きだまりによる交通障害、大雪、暴風、高波に警戒。なだれ、低温に注意。

2 人的被害等の状況（NHK 報道）

- 雪かき中の落雪の下敷きとみられる死者1名（山形県）
- その他、交通事故による負傷者情報あり

3 国土交通省の対応（1/13 7:00 時点）

- 国土交通省災害対策連絡調整会議開催（1/11 14:00）
- 大雪に対する国土交通省緊急発表（1/12 18:00）
- 注意体制
本省、北陸地整、東北・北陸信越運輸、国土地理院、気象庁

4 国土交通省関連情報（1/13 7:00 時点）

- 道路関係（高速道路、直轄国道、補助国道、都道府県道等）
 - ・ 雪による通行止めなし
- 鉄道関係
 - ・ 1事業者2路線
JR東日本：只見線（只見～大白川、会津若松～会津川口）磐越西線（徳沢～津川）
- 航空、自動車、海事等の交通関係
 - ・ 雪による運休等なし
- 河川、土砂災害、港湾、住宅関係、都市公園、宅地関係、物流、観光関係
 - ・ 現時点で被害情報なし

気象庁同時発表

平成29年1月12日
水管理・国土保全局防災課
道路局国道・防災課
気象庁

大雪に対する国土交通省緊急発表

今週末にかけての大雪に備え、下記のとおり、ドライバー等の皆様への呼びかけについてお知らせします。

○北日本から西日本にかけての日本海側を中心に、15日頃にかけて大雪が継続し、猛吹雪となるところがある見込みです。また、14日から15日にかけては、東海や近畿等、西日本から東日本の太平洋側の平野部でも局地的に大雪となるおそれがあります。

○大雪や猛吹雪による立ち往生等に警戒が必要です。

○不要不急の外出は控えるとともに、やむを得ず運転する場合には、冬用タイヤやチェーンの早めの装着をお願いします。

※別添もご参照ください

【問い合わせ先】

(全般)

国土交通省水管理・国土保全局 防災課 災害対策室

防災企画官 田中 克直 (内線35762)

TEL 代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8461

FAX 03-5253-1608

(気象の見通しに関すること)

気象庁 予報部 業務課 気象防災情報調整室

室長 千葉 剛輝 (内線3105)

TEL 代表 03-3212-8341

直通 03-3211-8302

FAX 03-3284-0180

(道路に関すること(類似の被災事例・現場の対応状況))

国土交通省道路局 国道・防災課 道路防災対策室

企画専門官 志々田 武幸 (内線37812)

課長補佐 今田 一典 (内線37662)

TEL 代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8489

FAX 03-5253-1620

大雪に対する国土交通省緊急発表 平成29年1月12日 緊急発表

- 北日本から西日本にかけての日本海側を中心に、15日頃にかけて大雪が継続し、猛吹雪となるところがある見込みです。また、14日から15日にかけては、東海や近畿等、西日本から東日本の太平洋側の平野部でも局地的に大雪となるおそれがあります。
- 大雪や猛吹雪による立ち往生等に警戒が必要です。
- 不要不急の外出は控える**とともに、やむを得ず**運転する場合には、冬用タイヤやチェーンの早めの装着**をお願いします。
- 大雪が予想される地方整備局においては、道路交通の確保ができる対応を24時間体制で行う予定です。

【1. 今後の気象の見通し】

平成29年1月15日頃にかけての大雪と暴風雪

<大雪や暴風雪に警戒が必要な時間帯>

	12日		13日		14日	15日
	夜	朝	昼	夜		
北海道						←→
東北	←→				←→	←→
関東北部					←→	←→
甲信				←→	←→	←→
北陸		←→	←→	←→	←→	←→
東海			←→	←→	←→	←→
近畿北部					←→	←→
中国					←→	←→

大雪: ←→ 猛ふぶき: ←→

予想される降雪量	13日18時までの24時間	14日18時までの24時間
北海道	30センチ	20から 40センチ
東北	70センチ	40から 60センチ
関東北部	40センチ	30から 50センチ
甲信	40センチ	50から 70センチ
北陸	80センチ	80から100センチ
東海地方の山沿い	60センチ	60から 80センチ
近畿北部	30センチ	40から 60センチ
中国	20センチ	40から 60センチ

その後さらに降雪量が増える見込み。

※各地の气象台が発表する気象情報等に留意ください。

最新の気象情報については、気象庁HPをご覧ください。

(<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

【2. 過去の大雪における被災事例】

平成28年1月24日から25日にかけての大雪

< 国道8号や県道等で合計200台以上の立ち往生が発生 >

- 平成28年1月24日から25日にかけて北陸地方整備局管内全域で降雪となり、特に新潟県見附市・長岡市上空には断続的に強い雪雲が流れ込み、気象庁長岡観測所で観測史上4位の降雪(69cm)を記録しました。
- 当該地域の各所で圧雪路面によるスタック車両が発生。並行する高速道路の通行止めや気温の上昇による圧雪路面の悪化が重なり、長時間の渋滞が発生。人流・物流に大きな影響を与えました。



平成28年1月26日(火)12:00頃
長岡市灰島新田付近の圧雪・渋滞状況

【3. 整備局など現場の対応状況】

- 各現場では、道路交通の確保のため、道路情報の提供や、大規模な立ち往生が発生する前の早い段階の通行止め、集中的な除雪作業、リエゾンの派遣などの対応を24時間体制で行う予定です。